



読書のまちかわさき

第2回全市図書
ボランティア研修会
2017年1月17日(火)

川崎市教育委員会 2017. 2. 27 発行

城内 三枝子氏 講演会

心に届くおはなし Part2

～手遊びやパネルシアターなどを通して～

城内三枝子(じょうない みえこ)先生は、小学校教諭を経て、児童文化専門の道に進まれました。江東区にあるストーリーテラーズスクール「おはなしかご」にて学ばれ、おはなし、絵本、パネルシアター、紙芝居などをおこなう「おはなし会」や講座などで活躍されています。今回の講演会では、心に言葉を届けるストーリーングの方法や読み聞かせの世界についてのお話を聞くことができました。実際に城内先生が「手遊び」や「パネルシアター」等を行い、会場のみなさんの心にお話を届けてくれました。参加者のみなさんからは盛大な拍手がわきあがりました。講演会には、180名余りの参加者があり、大盛況のうちに終了しました。



～参加者の感想より～

- パネルシアターと手遊びだけでなく、南京玉すだれや歌、詩など盛りだくさんの内容でした。子どもの気持ちに戻って楽しませていただきました。
- 「べろだしちゃんま」のお話は、初めて聞かせていただきましたが、とても心に響き、胸が苦しくなるほどでした。本をぜひ手に取って、いつか子どもたちにも伝えていけたらと思います。
- 今回の城内先生のお話を伺って、よくないことや汚いものに対し、見せない、隠す、目を背けることではなく、原作を公正な目で見て、まっすぐ伝え、そこから何を感じとるか、何が大切かを学ぶか、命あるありがたさを感じられるか・・・などを大切に、読み聞かせを続けようと思いました。
- 先生のお話を聴いて、すっかり魔法にかけられてしまい、私自身が心の潤いを取り戻し、温かい気持ちになりました。

子どもたちはみんな、絵本がだいすき



「読書のまち・かわさき」推進事業では、家庭における読書や読み聞かせの大切さを伝え、乳幼児期の絵本選びの参考となるように「えほんだいすき」を発行し、各区役所保健福祉センターや図書館等で配布しています。また、子どもたちにおはなしのおもしろさ、本を読む楽しさをあじわってもらおうと、市立図書館において「おはなし会」を開催しています。



第5回総括学校司書研修会・第3回学校司書研修会

1月17日(火)に、中原図書館で行われました。テーマ別分散会では、「本購入支援の方法と蔵書のバランス」、「学校図書館の有効活用に関する提案や企画」、「ボランティアガイダンス(ボランティアにどう関わっているか)」の3つに分かれて、日頃の活動を報告しながら、今後の取組についての話し合いが行われました。各会において、積極的に意見交換がされ、参考となる取組内容が多く出されました。また、区ごとの情報共有では、テーマ別分散会の内容についての情報共有を行い、学校図書館の活性化や子どもたちの読書活動の推進のための具体的な活動等を考えることができました。



子ども読書カレンダー

平成29年版ができました!



今年も川崎市教育委員会では「読書のまち・かわさき」推進事業の読書普及広報活動の一つとして「子ども読書カレンダー」を作成し、市立学校、市立保育園、市立図書館、市民館等に配布しました。かわさき読書週間に向けて応募していただいた読書標語、ポスターの優秀作品の数々が掲載されています。

多くの方々が作品に目をとめていただき、川崎市のみなさまの読書への関心が高まることを願っております。